

## R6【はぐくむ資質・能力】「鴨沂ルーブリック」による振り返り

### ○ 資質・能力 対応表

#### 1 年科目別

学年	科目名	① チャレンジ する力	② 考える力	③ 知識・情報 活用力	④ 協働する 力	⑤ 発信・表 現力	⑥ 創造力	⑦ 文化・歴史 に対する興 味・関心
1	言語文化	×	○	×	×	○	×	○
1	現代の国語	×	○	○	×	○	×	×
1	歴史総合	×	○	○	×	×	○	○
1	公共	×	○	○	○	×	×	○
1	数学Ⅰ+A	○	○	○	○	○	○	×
1	理数探究基礎	○	○	○	○	○	○	×
1	地学基礎	×	○	○	×	○	×	×
1	化学基礎	×	○	○	○	×	×	×
1	体育	○	×	×	○	○	×	×
1	保健	×	×	○	×	○	×	×
1	音楽Ⅰ	○	×	×	○	○	×	×
1	書道Ⅰ	×	×	×	×	○	○	○
1	美術Ⅰ	×	×	×	×	○	○	○
1	英語コミュニケーションⅠ	○	○	○	○	○	○	○
1	論理・表現Ⅰ	○	○	○	○	○	×	×
1	情報Ⅰ	×	×	○	○	○	×	×

#### 2 年科目別

学年	科目名	クラス コース	① チャレン ジする力	② 考える力	③ 知識・情 報活用力	④ 協働する 力	⑤ 発信・表 現力	⑥ 創造力	⑦ 文化・歴 史に対す る興味・ 関心
2	論理国語	全	×	○	○	×	○	×	×
2	古典探究	全	×	○	○	×	○	×	○
2	文学国語	1,2,3,4	×	○	○	×	○	×	×
2	地理総合	京都文化	×	×	○	×	○	○	○
2	地理総合	京都文化以外	×	○	○	×	×	×	○
2	日本史探究	1,2,3,4	○	○	○	○	○	×	○
2	世界史探究	1,2,3,4	×	○	○	○	○	×	○
2	数学Ⅱ	1	×	○	○	○	×	×	×
2	数学Ⅱ+B	2,3,4	×	○	○	○	×	×	×
2	数学Ⅱ+B	5,6	○	○	○	○	×	×	×
2	生物基礎	1,2,3,4	○	○	○	○	○	×	×
2	化学	5,6	○	○	○	○	○	×	×
2	物理基礎+物理	5,6	×	×	○	○	×	×	○
2	生物基礎+生物	5,6	○	○	○	○	○	×	×
2	体育	全	○	×	×	○	○	×	×
2	保健	全	×	×	×	○	○	×	×
2	音楽Ⅱ	1	○	×	×	○	○	×	×
2	美術Ⅱ	1	×	×	×	×	○	○	○
2	書道Ⅱ	1	×	×	×	×	○	○	○
2	英語コミュニケーションⅡ	全	○	○	○	○	○	×	○
2	論理・Ⅱ	全	○	○	○	○	○	○	×
2	家庭基礎	全	×	○	○	○	○	×	×

#### 3 年科目別

学年	科目名	クラス コース	① チャレン ジする力	② 考える力	③ 知識・情報 活用力	④ 協働する 力	⑤ 発信・表 現力	⑥ 創造力	⑦ 文化・歴史 に対する興 味・関心
3	論理国語	全	×	○	○	×	○	×	○
3	古典探究	全	×	○	○	×	○	×	○
3	文学国語	1,2,3,4	×	○	○	×	○	×	○
3	政治経済	1,2,3,4	○	○	○	○	○	×	×
3	倫理	1,2,3,4	×	○	○	×	○	×	○
3	世界史探究	1,2,3,4	×	○	○	○	×	×	○
3	日本史探究	1,2,3,4	○	○	○	○	○	×	○
3	地理探究	5,6	×	○	○	×	×	×	○
3	数学B	1	×	○	○	○	×	×	×
3	数学C	1	×	○	○	○	×	×	×
3	数学C+数学演習	2,3,4	×	○	○	○	×	×	×
3	数学Ⅲ	5,6	○	○	○	○	×	×	×
3	数学C	5,6	○	○	○	○	×	×	×
3	理科特講A	1,2,3,4	○	○	○	×	○	×	×
3	理科特講B	1,2,3,4	×	○	○	○	×	×	×
3	生物	2,3,4	○	○	○	○	○	×	×
3	生物	5,6	○	○	○	○	○	×	×
3	化学	5,6	○	○	○	○	○	○	×
3	物理	5,6	×	○	○	○	×	×	○
3	体育	全	○	×	×	○	○	×	×
3	スポーツⅡ	1	○	×	×	○	×	×	×
3	音楽Ⅲ	1	○	×	×	○	○	×	×
3	美術Ⅲ	1	×	×	×	×	○	○	○
3	書道Ⅲ	1	×	×	×	×	○	○	○
3	英語コミュニケーションⅢ	全	○	○	○	○	○	×	○
3	論理・表現Ⅲ	全	○	○	○	○	○	○	×
3	保育基礎	1	○	○	×	○	×	×	○
3	京都の産業文化	1	×	○	○	○	○	×	○

#### 学校行事

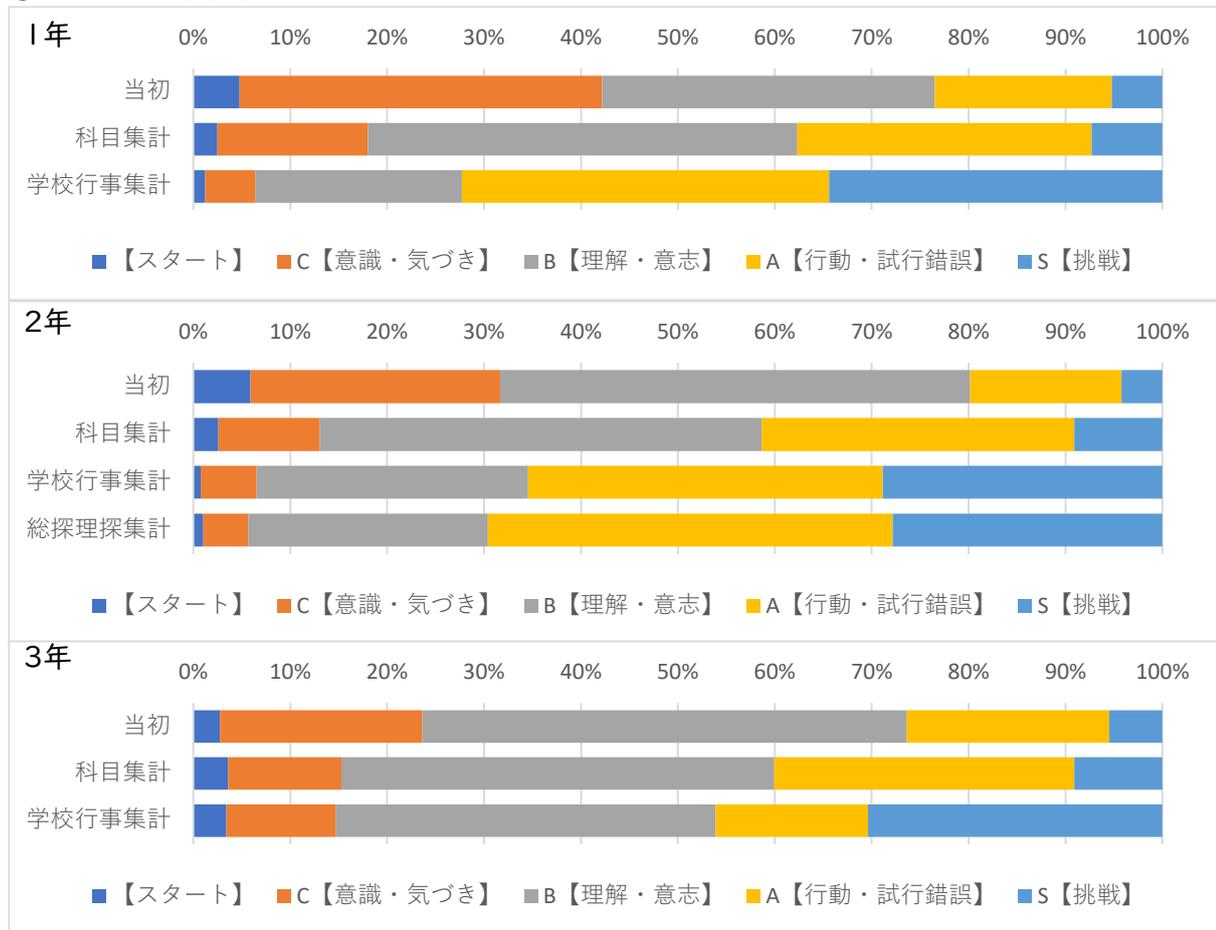
行事	学年	①チャレ ンジする 力	②考える 力	③知識・ 情報活用 力	④協働す る力	⑤発信・ 表現力	⑥創造力	⑦文化・ 歴史に関 する興味・ 関心
4月 遠足	2,3年	○		○	○	○		
5月 歌舞伎教室	3年					○		○
6月 研修旅行	2年	○		○	○	○		
9月 文化祭	全学年	○			○	○	○	
9月 体育祭	全学年	○			○			
10月 狂言教室	1年					○		○
10月 オペラ教室	2年					○		○

### ○ 回答数

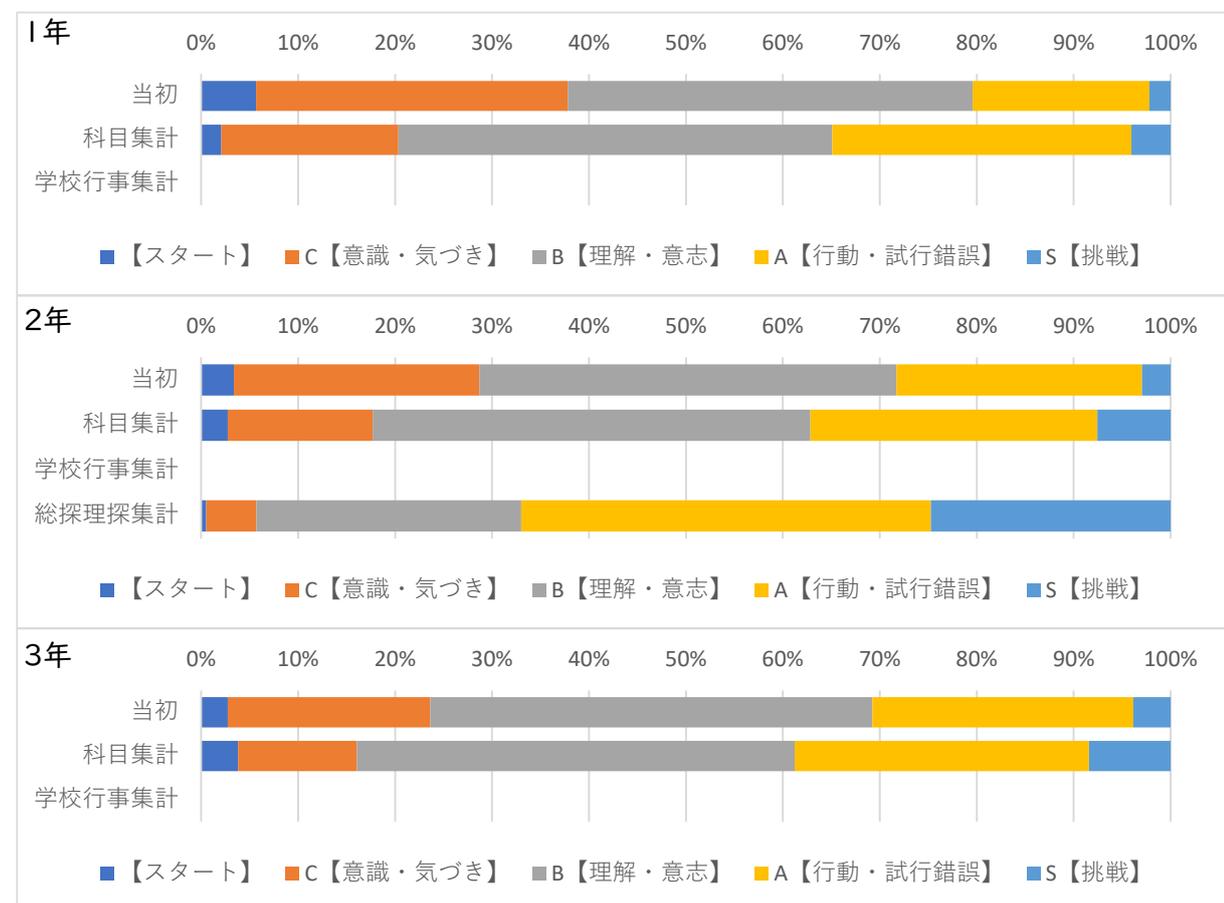
		①チャレンジ する力	②考える力	③知識・情 報活用力	④協働する 力	⑤発信・表 現力	⑥創造力	⑦文化・歴 史に関する 興味・関心
1 年	当初	230	230	230	230	230	230	230
	科目集計	1011	1538	1851	1424	1810	755	985
	学校行事集計	404	0	0	404	378	183	195
2 年	当初	237	237	237	237	237	237	237
	科目集計	1461	2088	2208	1679	2087	949	1293
	学校行事集計	872	0	471	914	904	229	237
	総探理探集計	194	194	194	194	194	181	163
3 年	当初	182	182	182	182	182	182	182
	科目集計	1001	1294	1277	1020	1172	685	948
	学校行事集計	403	0	151	331	418	112	162

※ 回答数「0」は該当行事なし

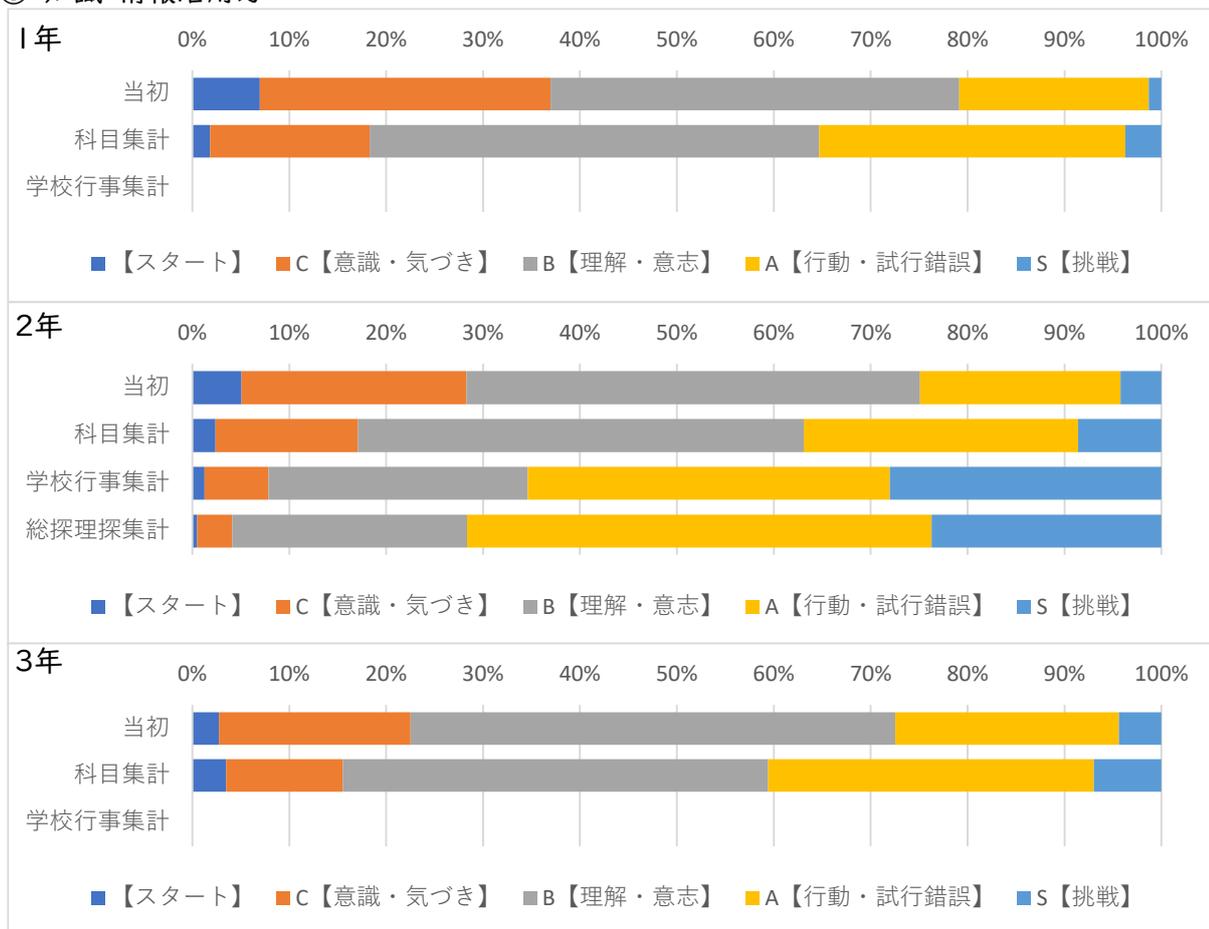
## ① チャレンジする力



## ② 考える力



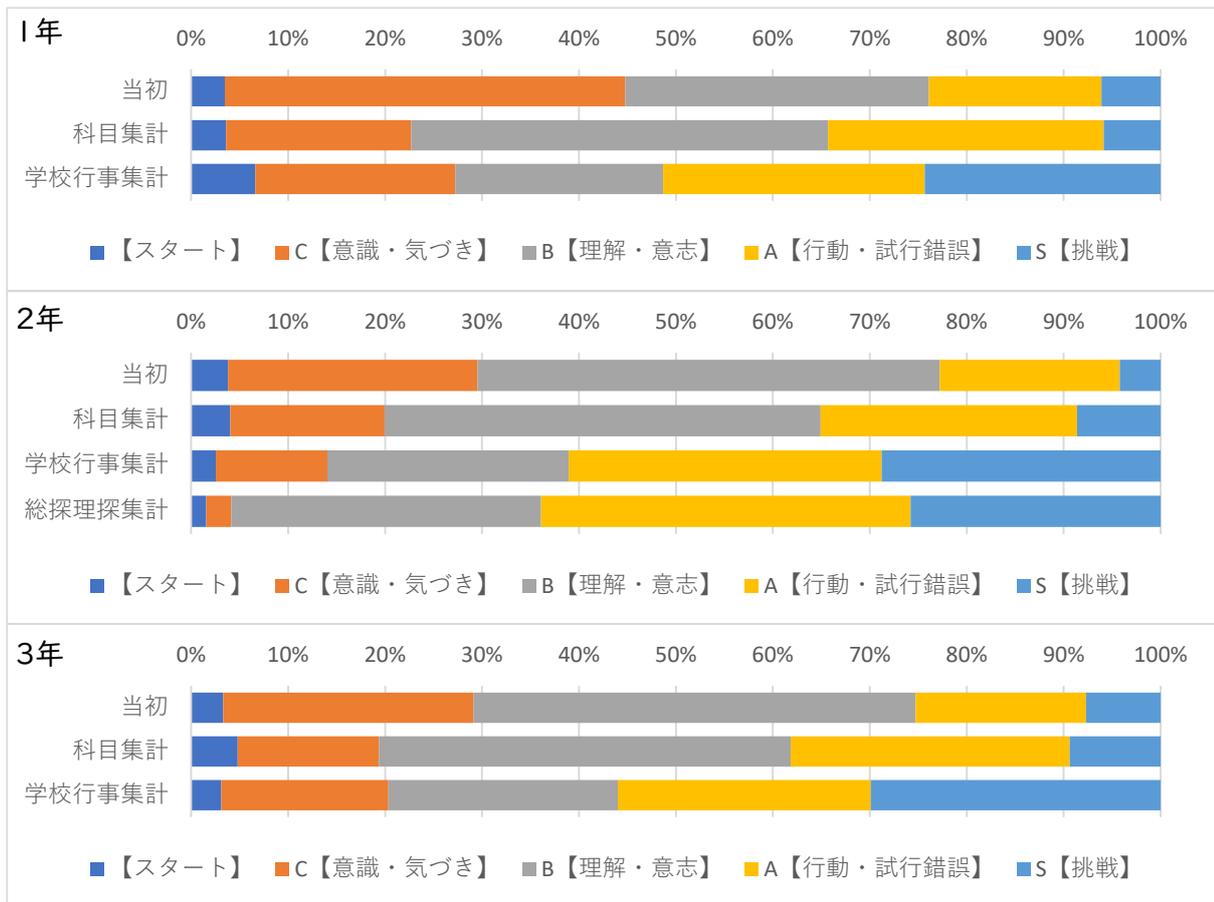
### ③ 知識・情報活用力



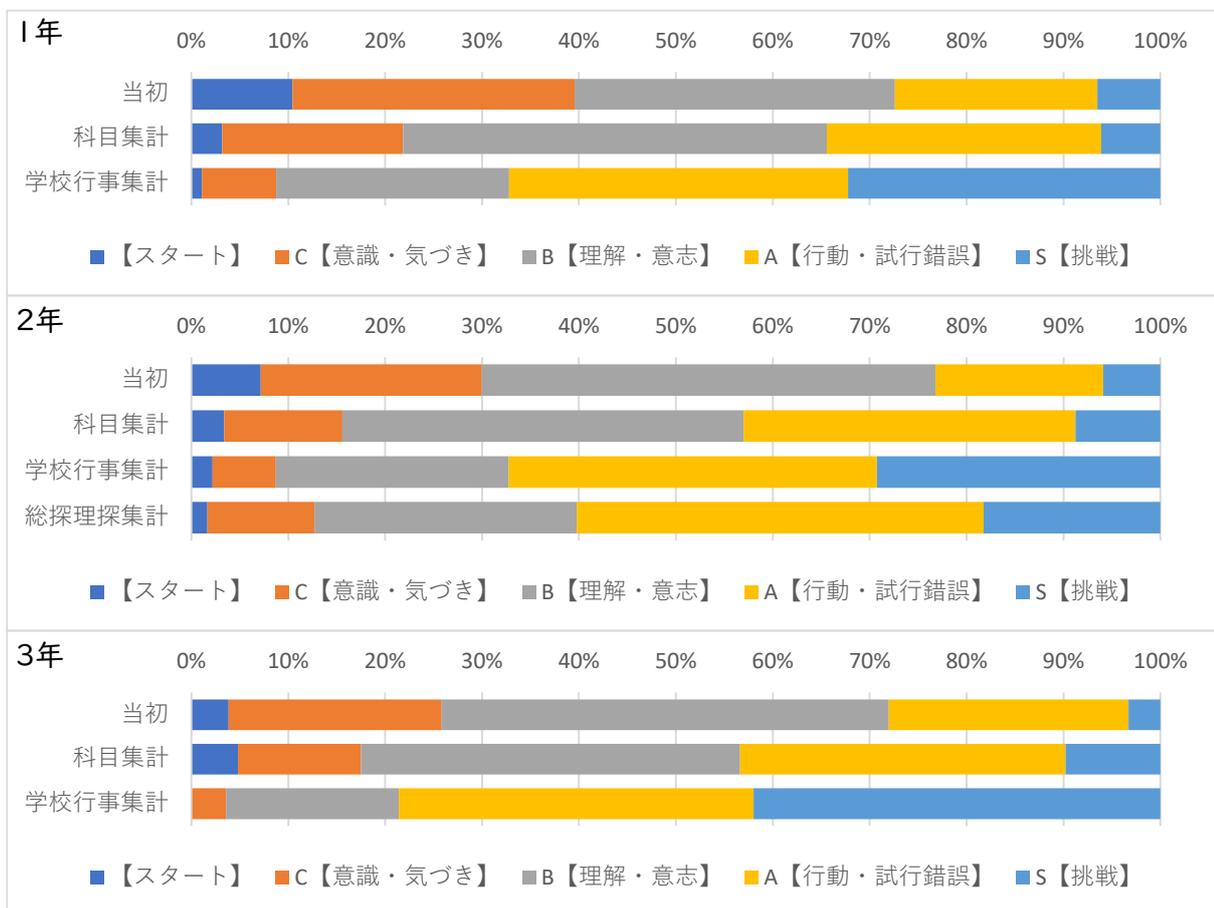
### ④ 協働する力



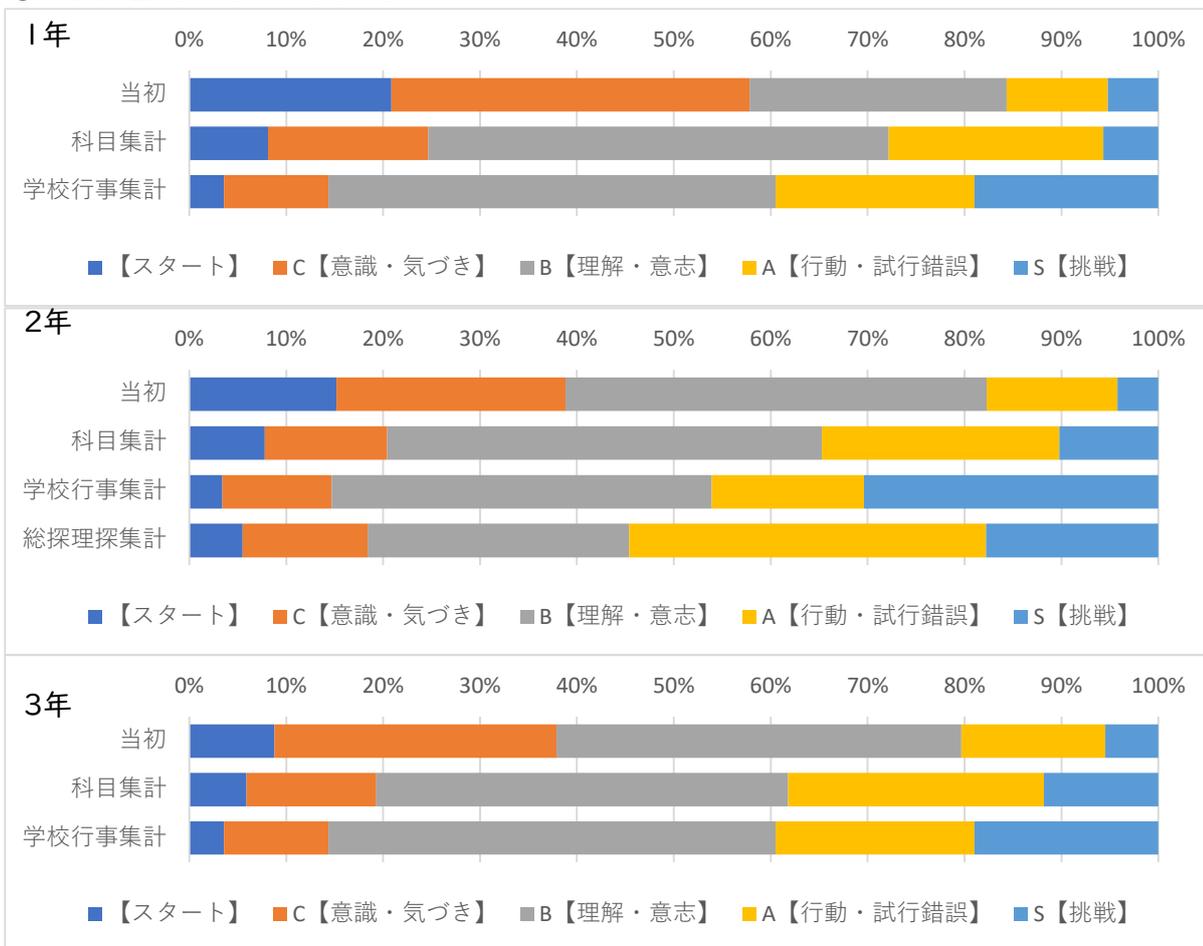
## ⑤ 発信・表現力



## ⑥ 創造力

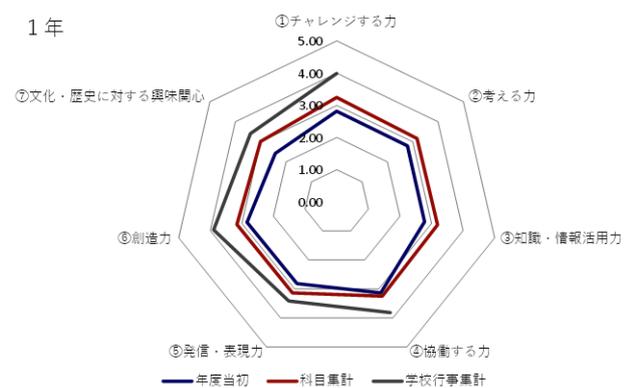


## ⑦ 文化・歴史に関する興味・関心

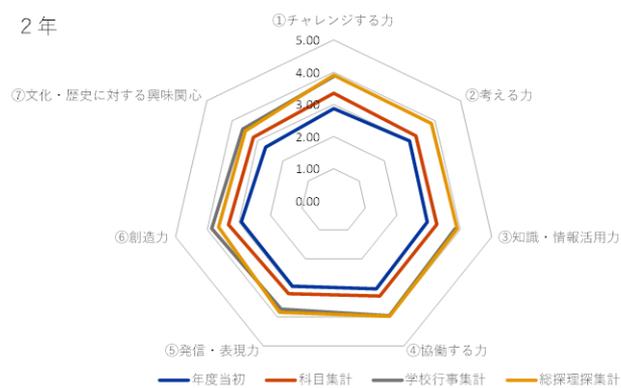


## ○ 年度当初・科目集計・学校行事集計

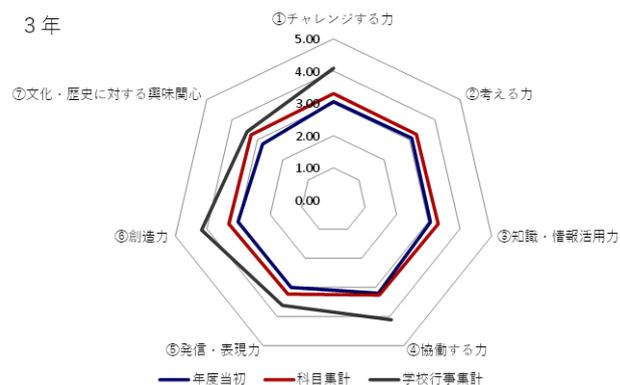
1年



2年



3年



※ スタート～挑戦まで5段階評価の平均

## 【成果と課題】

- ・昨年度の改善点より、本年度は2年生「オペラ鑑賞」を導入した。結果、「文化・歴史に関する興味関心」をステップアップすることができた。
- ・総合的な探究の時間及び理数探究について、昨年度は振り返りができなかったが、本年度は最終授業の際に、鴨沂ルーブリックを活用した振り返りを実施できた。結果、年間を通じて、探究活動に取り組むことが、学校行事と同程度の資質・能力の伸びを実感できていることがわかった。
- ・昨年度と比較すると、2年生の回答数が大きくアップしていて、振り返りに鴨沂ルーブリックを活用することが定着してきたと思われる。
- ・科目について、2学期期末考査後に全科目振り返りを実施している。この点について、昨年度、例えば協働的な学びを実施した後に、科目の目標には挙げていなくても、随時振り返ってみてはどうかとの意見があったが、本年度もピンポイントでの振り返りはできなかった。
- ・科目の特性に応じて、7つの力のうち、特に重点とする力がどれかをシラバスで示しているところであるが、回答した1年生から「この科目は〇〇する力はいらぬのかな」と言った声が聞かれた。重点としていないことが誤ったメッセージに繋がる可能性がある。

## 【次年度に向けて】

- ・学習指導要領に掲げられた3つの観点と、本校のはぐくむ資質・能力は全て一致するものではないが、関連するものとしては次の通りである。
  - 「知識・技能」 ⇔ ③ 知識・情報活用力
  - 「思考・判断・表現」 ⇔ ② 考える力、⑤ 発信・表現力
  - 「主体的に学習に取り組む態度」 ⇔ ① チャレンジする力
- 科目の学習においては、3観点ともにバランスよく育成することが求められていることから、次年度より、①②③⑤について、全科目において重点とする力としてシラバスに掲載する。
- ・年度途中においても必要に応じて科目の振り返りができるように、常時アンケート機能を活用した鴨沂ルーブリック評価票用意する。

## 【補足】

2年 総合的な探究の時間・理数探究 自由記述欄より

- ・最初はテーマを決めることも難しくて、先の計画も立てたけどはっきりとしたイメージがわかなかった。でも回を重ねるごとになんでこの仮説を立てたのか、や実験の目的が明確になっていった。グループで一つのことを行うというのも協働する力がより一層強くなったと思う。
- ・多彩な歴史的資料から自分が本当に求めている情報はなんなのか、その情報は正しいと言えるのか、取捨選択をする力がついたように感じる。
- ・日常に潜んでいるよく考えると疑問が浮かぶことを、試行錯誤を行いながら検証しつづける継続力と探究心が身についた。
- ・仮説を立てる時間、それを検証する時間が自分にとって想像力を働かせる機会になった。